

トラック1… 告白

【この台本を読む際に留意して頂きたい点が一点あります。

この物語では、他人の愚痴を言うシーンが多数存在するのですが、その愚痴をいうときに、

「性格の悪そうな声」は、出さないで欲しいです。

ヒロインは、根本は良い子で、

愚痴を言いたくて言っている訳ではありません。

優しい子のまま、

「諦めをにじませた雰囲気」で、愚痴を言って欲しいです。】

SE::夜の虫の鳴き声

SE::パソコンの音

【位置：正面30センチ】

んーっ。ふう……。 (伸びをして息を吐く)

先輩せんぱーい。そろそろ七時、回りますよ。

切り上げて…。片づけません？

いやいや。ここは終わりましたようよー。

先輩が切り上げて下さらないと、私も帰りにくいんですけど…。

ほら。もう片付けしますね。先輩。

SE::書類をまとめ始める

そんでー…。先輩。

今日の作業、どこまで進みました？

私の方は、残りの予算配分を表にまとめ終わったところです。

SE::先輩がパソコン画面を見せる

おー…。

駐車場案内の書類、作り終わったんですか。
配布用と掲示用の二種類も…
相変わらず気が利きくことで。

それと？

おやおや。

それは、美術部に依頼するパンフレットの仕様書ですか？
「明日会議しながらみんなで作る」って言ってたやつですけど、
先に作っちゃったんですね。
ふふ…。中々先輩も悪い子です。

いえ。褒めてるんですよ。

今の私たちには本来、
パンフ内容で会議するような時間はありませんから。
たたき台を用意してさっさと会議を終わらせるのは、
合理的な判断だと思います。
はあ……。 (溜息)

不思議ですねー…。

文化祭まであと三週間。

それなのに、ミスコンだの舞台運営だの、
やらなきゃいけない作業は山ほど残っていて……。

こんな状況で、どうして私たちは無駄な会議ばかりしているんでしょう。
遅くまで残って作業しているのも、私と先輩くらいしかいませんし…
ホント。腐りきってますよ。この文化祭実行委員は。

ええ。一番厄介なのは、やはり委員長ですね。

彼女に会議を減らすよう要請しても、

「私たちはチームなんだからいろいろ共有していこうよ。」とか、

「みんなの意見を取り入れればもっといいものになるよ。」とか。

そんな意識高そうな言葉で、無駄な会議を正当化してきますし。

他のメンバーも、

詰めあがった事務作業より会議と言う名のおしゃべりの方が楽だからと、
みんな委員長に同調して、

結局比較的マトモな私たち二人だけが、

こうして貧乏くじを引いてしまう訳です。はあ…。

あーあ…。

こうなる事が分かってたら、

文化祭実行委員なんかやらなかったんですけどね。

私、放課後は家でゴロゴロするのが趣味でしたのに。

最近はずっと、パソコンの画面とにらめっこですよ。

ポテチと漫画が恋しいです、まったく…。

……すみませんね。先輩。

柄にもなく、色々愚痴を聞かせてしまって。

いつも二人で残業している者同士、同じ気持ちかなと思い、
つい口が達者になってしまいました。

……そうですか。

同じなら……。少し安心しました。

すう……。ふう……。(呼吸音1回)

……。

あの。先輩。

お付き合いしませんか？ 私たち。

いやいや、そんな驚かなくても。

そうですねー。

私、先輩のことを異性として、好ましく思ってるんです。

私たち似たもの同士じゃないですか。

この腐りきった実行委員で、唯一マトモに作業をしてて…。

……先輩だって、そうじゃないんですか？

私のこと。憎からず思ってるでしょう？

ふふっ。なら両想いですね。先輩。

【位置…右耳側30センチ】

では早速ですけど。

今から私を、家まで見送ってもらえますか？

ええ。私の家、学校にほど近いですけど、やはり夜道は危ないですから。
お願いします。彼氏先輩。

トラック2…耳舐め手コキ

【位置…正面斜め右耳側30センチ】

このアパートが、私の家ですよ。

そうですね。学校から徒歩5分。ホントに近いです。
まあでも……。せっかくですしまだ帰らず、
もう少し一緒にいましょうか。

その公園のベンチで、くつろぎましょう。

SE:自動販売機で飲み物を買い、ベンチに座る

【位置…右耳側30センチ】

ふう……。あったかい……。

ええ。ホットココアです。私結構甘党なんですよ。
一口、飲みます？

ふふっ。恥ずかしがりやですね。
その様子だと、私が初めての彼女でしょうか。

いえ。私も初めてですよ。

余裕があるように見えるのは、私がそーいう性格なだけです。
モテなかった訳では無いんですけどね。

お付き合いしたいと思える男性が、今までいなかったもので…。

ん……。

そんな大きなくしゃみして。寒いんですか？ 先輩。
十一月も始まったというのに、結構薄着ですもんね。

……すいません。

本当は私の部屋に上げてあげられれば良かったんですけど。親がいるのと……あと私の部屋、片付けができてなくて。人をお招きできる状況では無いんです。

…意外ですか？

私、結構だらしない女の子ですよ？

基本面倒くさがりで、片付けとか家事とか。

あんまり率先してやりませんし、

ゴロゴロするのが趣味といった通り、

休日も家でジャージ姿のまま、だらだらと過ごしていることが多いです。

……あ。

もしかして先輩は、だらしない女の子はダメなタイプです？
女の子らしい、きっちりした子の方が、好みでしたでしょうか？

…そうですか。なら良かったです。

でも。先輩が寒いのは、結構問題ですよ。

このまま風邪でも引いてダウンされたら、

文化祭実行委員はいよいよどうしようもないですし、

勘弁してもらいたいところです。

かといって、解散するのも嫌ですね…。

まだもう少し、一緒にいたいので。

ふむ……。

【位置：次のセリフで正面30センチへ移動】

よし。じゃあ先輩。体を温めましょう。

運動？ いえいえ。もっと楽しいことですよ。

【位置：次の「ぎゅーう」で左耳側0センチへ移動】

ぎゅーーう。

【ここから囁き（有声音）】

ふふっ。こうして抱きつくと、

先輩の体にも多少の筋肉があるのがわかります。

ちゃんと男の子なんですネ。先輩。

ああ、ちょっと。逃げようとしなくてください。

せっかく寒そうな先輩を温めてあげてるんですから。

ちゃんと暖をとりましょう。

何がダメなんですー？

恋人同士で抱き合うなんて、普通のことでしょう。

いやいや。見られたりなんかしませんって。

人通り少ないですし、このベンチは死角にありますし。

それにそもそも見られても、少し恥ずかしいくらいですよー…。

すう……。ふう……。

すう……。ふう……。 （耳元で呼吸音2回）

【ここから無声音】

ねえ。先輩。

すき。

ふふっ。体、ビクッてしました。かわいいですねえ。

もっと言ってあげましょうか？

すき。好き。好き。すき。

すーき。すーき。すーき。せんぱい、だーいすき。

（←ほっぺにキス）

ん……。ちゅっ……。

ふふっ。先輩のお顔、真っ赤です。

抱きつかれて、耳元で好き好き囁かれて、

女の子耐性ゼロの先輩には、刺激が強すぎましたか。

いいえ。やめませんよ。

照れて恥ずかしがってる先輩、面白いので。

もっと私の愛を受け取ってください。

すーき。すーき。すーき。すーき。

（←ほっぺにキス）

ん……。ちゅっ……。

かっこいいなあ……。かっこいい。だーいすき。

（←耳にキス）

はむ……。んちゅっ……。

【ここから有声音】

【次の「ん…」は、勃起に気づいた「ん…」です】

ん……。

おやおや。どうしましたー？先輩。

私に興奮してきちゃいましたか？

んー？

もっとわかりやすく聞いた方がいいですかねえ？

「おちんちん大きくなっちゃいましたか？」って。

ふふっ。隠そうとしてもダメです。

バレバレですよー童貞先輩。

いえ。謝ることでは。

むしろうれしいです。先輩が私に、欲情してくれて。

じゃあ……先輩。

せっかくですからこのまま、おちんちん抜いてあげますね。

ええ、今ここで。

大丈夫です。ほんとにこの辺、人通り少ないですから。

SM先輩が少し体を離す

【囁き終了】

【位置：正面5センチ】

……ん。何ですかー？

そうですね。

初日から飛ばしすぎている自覚は、私にもありますよ。

でも…、良いじゃないですか。

いずれ付き合っていけばする事することですし、今したって私、先輩とえっちなこと、したくてしょうがないんです。

ふむ。それでも渋ると…。はあ……。

【位置：左耳側0センチ】

【ここから囁き（有声音）】

ですが……。先輩。

私正直、そーいう、

「段階を踏んで一歩ずつ…。」みたいな考え方、嫌いなんですよね。

恋人関係の駆け引きとか、

滅茶苦茶面倒ですし、ストレスじゃないですか。

付き合った以上、すぐにエッチなことまでシておーけー…。

それくらい分かりやすい関係を、先輩とは築きたいです。

それにほら、今の文化祭実行委員を見てみてくださいよ。

大事なことを後回しにし続けたせいで、

首が回らなくなっているでしょう？

私たちの関係も同じように、性的なことを後回しにすれば、
いずれツケが回ってくるかもしれません。

そういう意味でもぜひぜひ今すぐ、

私とエッチな事、した方が良いかなと思うのですが…。

どうでしょうか。先輩。

いいえ、屁理屈ではありません。ちゃんと的を射た話です。

それともなんですかー？

先輩は、面倒な関係がお好きですかね？

「いつになったら私たち、エッチできるのかなあ？」とか思いながら、
健全なしょーもないお付き合いをする…。

そういうかったるい、振り回して振り回されての恋愛の方が、
お好みなんでしょうか。

【囁き終了】

【位置…次のセリフで正面15センチへ移動】

そういう訳じゃないなら…。脱がせますよ？
ほら。まずはベルトから。ん、しょ……。

ふふっ。おとなしく脱がされて……。

先輩は結構、押しに弱いタイプなんですねえ。

あとは……。下着をおろして。

よし。脱がし終わりました。

おー……なるほど。これがおちんちんというものですか。
変な形で、ぴくぴく脈打って……。ちょっとかわいいですね。

いえ。「おちんちんが」というより、

「公園で脱がされて、顔を赤らめている先輩がかわいい」と、言うべきでしょうか。

【位置…次のセリフで左耳側5センチへ移動】

では先輩。今日はこのままおちんちん握って、
手コキで抜いてあげますね。

横から女の子に抱きつかれながらの、密着手コキ。
絶対幸せで、気持ちいいと思います。

じゃあおちんちん。しごいていきますよ……。ぎゅっ……って握って、上下に……。……ふむ。こんな感じでしょうか。

SE:手コキスタート

ふふっ。おちんちんって、面白い感触ですねえ。
表面はムニムニと柔らかいの、芯の部分は硬くて、
ちよっと癖になりそうな触り心地です。

あとー…。あったかいですね、先輩のおちんちん。
この寒空の下で触るには、なかなか丁度いい温度。
私の手を温めてくれて、ありがとうございますよー…。先輩。

先輩も……。ちゃんとあつまってますか？
ズボンを脱がせておいて言うのもアレですが、
一応先輩を温める名目で抱きついた訳ですし、
私の体でしっかり、温まってください。
ほら。いっぱい体、押し付けてあげます。

【位置：左耳側のセンチ】

【ここから囁き（無声音）】

ぎゅっ。ぎゅっ。ぎゅーう。
あったかくなーれ。あったかくなーれ。
女の子の柔らかい体であったかくなって、
おちんちん気持ちよくなーれー…。

おー…。

幸せそうな顔でおちんちんびくびくさせて。いい感じです。先輩。

でも……。ちよっと先輩の体、緊張してますよね？
まあ、初めて女の子とくっついて、エッチな事している訳ですから、
緊張するのは致し方なしなんでしょうけど……。
リラックスした方が、いっぱい気持ちよくなれますから。
できそうなら体の力を抜いて、もっと私に身を預けてみてください。

ほら。リラックス。脱力ですよー…。せーんぱい。
だらーん……。

ん……。そうそう、そんな感じ。

先輩が私にもたれかかって来たの、感じます。

ふふん。やればできるじゃないですか。

じゃあそのまま。

私に全部ゆだねて、おちんちん扱かれてましようね、先輩。

すう……。ふう……。

すう……。ふう……。(耳元で呼吸音2回)

ふふっ。段々喘ぎ声、漏れてきましたねえ。

どうです？ 私が言った通り脱力した方が、

おちんちん気持ちいいでしょう？

ええ。いっぱい甘えてください。

…いい子。…いい子。

女の子におちんちんゆだねられて、いい子ですね…。先輩。

気持ちよくなーれ。気持ちよくなーれ。

大好きな先輩も。おちんちんも。私の手で気持ちよくなーれ……。

【ここから有声音】

……。あ。そういえば先輩。大事な事を忘れてました。

ええ、大事な事。

私たち、まだキスをしていません。

【囁き終了】

【位置…次のセリフで正面5センチへ移動】

なので……。ちゅーしますよ…先輩。

最初から舌を絡めた深いやつ、しますから。
お口開けてください。
はい。ちゅーう。

【深めのキス、20秒】

ふう…。

これが、私のファーストキスです。
そして先輩も。初めてのキス…。ですかね？

ふふっ。お顔トロトロにして。

女の子とのべろちゅー。そんなに良かったんですか？
じゃあもっともっと、しましうか。

私も先輩とのキス、気持ちよかったので。
唾液とか、いっぱい交換しちゃいましょうね…。先輩……。

【深めのキス、20秒】

ふふっ。先輩のおちんちん、どんどん固くなりますねえ。
先っぽからエッチなおつゆもだらだら垂らして……。
私の手、ぐちゃぐちゃになってきました。

気持ちいいですー？。

ハグも、べろちゅーも、手コキも。

全てが甘くとりけるようで、幸せですか？

【位置：次の「ねえ先輩」で左耳側0センチへ移動】

……ねえ先輩。

【ここから囁き（有声音）】

これが女の子、なんですよ。

ぜんぶ温かくて、柔らかくて、心地いい。

女の子はそんな、多幸感の塊みたいな存在なんです。

どーぞ存分に、ハマって下さいね……。先輩。

私、先輩のこと大好きですから。

ハマったら私が毎日、先輩に女の子を与えてあげます。

【囁き終了】

【位置：次のセリフで正面5センチへ移動】

ほーら。

リラックスして、

ベロチューと手コキの快感に浸っちゃいましょう？

女の子を、私を大好きになっちゃいましょうね……。先輩……。

先輩……。

【深めのキス15秒（以下、キス継続しながら）】

好き……。好きですよ……。んちゅ……。ちゅ。

だいしゅき……。だいしゅき。ちゅ……。ちゅぶ……。

付き合えてうれしいです……。へんぱい……。むちゅ……。ちゅぱ……。

【継続してキス、20秒】

ん……。何ですゝ先輩。

そろそろ？ お射精するんですか？

へえ……。結構早い…。

早漏というやつですかね？

いえ。全然いいですよ？

早漏おちんちん、かわいいじゃないですか。

じゃあ扱くの早くして、

おちんちん追い詰めてあげますから。

思う存分吐き出しちゃってください。

もちろんベロチューもいっぱいして、

幸せなお射精、させてあげますよ。

いっぱいぴゅっぴゅっしましゅうねゝ。先輩……。

【深めのキス20秒】

もう限界ですね。出ちゃいますね。

先っぽから白いおしっこ、おもらしますねえ。

じゃあカウントダウンしますから、

三秒後にびゅーびゅー。お漏らししてください。

いきますよー…。

さーん。 にーい。 いーち。

はい。お射精ごーぞー。せーんぱい。

【深めのキス20秒（徐々に優しくして、キス終了）】

おー……。いっぱい出ましたねえ。

ん。気持ちよかったですか？
それは何よりです。

えーっと……。ちょっと待っててくださいね。
掃除して、ズボン履かせますから。

【位置：次のセリフで正面15センチへ移動】

ん、しょっ……。

おちんちんふいて……。ズボンを……。
これで良しと。

【位置：正面斜め右耳側30センチ】

さて。いい時間ですねえ。

はい。おちんちんも抜き終わったことですし、
名残惜しいですが、そろそろ解散にしましょう。

先輩、そのホットココア、取ってもらえます？
飲み切って、捨てますので。

SE：缶を渡す。

……。あ。そーいえば先輩。
エッチする前、

私がこのホットココアを勧めたとき、先輩断りましたよね。

いえ。少し面白いなと、思いました。

その時は間接キスで日和っていたのに。
結局そのあと、ベロチューも手コキも経験しちゃって…。
この十数分で、随分成長しましたねえ。先輩。
成長というか、私に押し切られただけですけど…。ふふっ。

【位置…正面30センチ】

……じゃあはい。どーぞ。

いや、分るでしょうに……。

「一口飲んでください」って、言ってるんですよ。

私、間接キス断られたの、
地味にショックだったんですよ。
ですから再度、所望します。先輩。

ええ、召し上がれ。

……。

どうです？

冷めちゃってると思いますけどー…。おいしいです？

おやおや。なに顔赤くしてるんですか？

あんなにベロチューした後なのに、
間接キスが恥ずかしいんですか？

なんというか…、私のこと意識しまくりですね。先輩は。

でも、そこが先輩の、良いところだと思います。

そういうウブなところ。かわいくて大好きですよ。

かわいい。好き。

好き好き大好き。せーんぱい。

【位置：今よりほんの少しだけ右耳側で。

（先輩が顔をそむけた設定）

ふふっ。もう私の顔もみれませんか。扱いやすいことで。

……。

ねえ、先輩。

顔背けたままでもいいですから。

ホットココア、返してください。

ん。それではココアと交換で。プレゼントです。

【位置：正面30センチ（さっき右耳側へ動いたのを戻る）】

カイロですよ。

帰り道は寒いでしょうから、これで温まりながら帰ってください。
学校を出るときに開けたものですし、あと数時間は持つはずですよ。
ええ。ではまた明日。がっこーで。

お疲れさまでした。

あ。あと先輩。一つ、約束を。

…文化祭。絶対成功させましょう。

トラック3：照明管理

【位置：正面斜め右耳側50センチ。】

【マイクに背を向けて】

お疲れ様でした。

はい。また明日。塾、頑張ってくださいね。

いえいえ。全然お気になさらず。

ええ。ではでは。

SE：扉が閉まる音

【ここからは普通にマイクの方を向いて下さい。】

【位置：正面30センチ】

今日も居残りしたのは、私と先輩だけですかー…。

まあ仕方ありませんね。

塾だの門限だの……。

皆さん随分と御大層な理由をお持ちのようですから。

居残りを強制するのは、酷というものです。

ええ。皮肉です。

さすがにあの人たちも、

そろそろ甘えたこと言ってられる状況じゃないってことくらい、
理解してると思うんですけどね。

どうしてあんなヘラヘラ笑いながら、帰路につけるのやら……。

ふむ……。

もしかすると私と先輩が、働きすぎているのかもしれませんが。

もう少し手を抜いて、
ヤバイ現状をより可視化した方が、圧力になるかも……。

ですね。

今の状況で動かない以上、それをやって動く保証はありませんし。
リスクが高すぎますねー……。
はあ……。 (溜息)

さて。先輩。

それはそうと、少し今から、私に付き合ってくださいませんか？

私、これから体育館の照明を組みに行くんですけど。人出が欲しくて。
ええ。行きましょう、先輩。

SE:廊下を歩く音。

【位置:右耳側30センチ】

当日まであと2週間と4日……。

本当ならもう少し早く、

体育館ステージの照明には手を入れるべきでしたね。

文化祭では演劇部や軽音部、

その他複数の生徒がステージを使う訳ですし。

照明が組みあがるのが遅いと、

その人たち全員に迷惑が掛かってしまいます。

まあ、そんな複雑な照明プランを組むところは少ないですし、

大丈夫だとは思いますが……。

ん？

ああ。私たち二人で大丈夫ですよ。

私、結構照明触れますから。

親が仕事で、箱の管理をしましてね。

中学のころから、それを手伝ってたんです。

体育館ステージを管理してる、劇部の水谷先生とも知り合いで…。

私なら要点だけ抑えてくれれば、

自由に触ってもらって構わないって、言っただけでした。

いやいや。

プロは言いすぎですよー？

体育館程度のこじんまりとした明かりを弄るには、十分というだけです。

SE: 体育館の扉を開ける

【位置: 正面斜め右耳側30センチ】

さてさて。それでは始めますかねー。照明づくり。
文化祭にふさわしい、華々しい舞台を作りましょう。先輩。

場転

【ここから、一応専門用語っぽい単語のイントネーションを記述します】

【「ご存じのものもあるかもしれませんが一応……。」】

「フェーダー」 ↓ パソコンの「サーバー」と同じイントネーション

「上手(かみて)」 「下手(しもて)」 ↓ 「右手」と同じ

「バミって」 ↓ SNSの、「バズって」と同じ

「ゼラ」 ↓ 魚の「エラ」と同じ

「地明かり(じあかり)」 ↓ 「仕上がり」と同じ

【以上です。お願いします。】

【位置：正面30センチ】

よし。吊ってある照明はこれでオーケーですね。
じゃあ次は、下手（しもて）のフロントサイドの調整をするので、
私が二階に上がったたら、10番のフェーダーを上げてください。

SE：移動

【正面斜め右耳側50センチ】

【演技：少し遠くから先輩に呼びかけるイメージです。】

せんぱいせんぱーい。

フェーダー上げたら、もっかい舞台上、来てもらってもいいですー？
あーストップストップ。立ち位置もうちょい上手側（かみてがわ）です。

そう。

その位置で取りましょう。足元バミってください。

そんでー。もう一個のライトも調整するので。

12番のフェーダーを上げて、また戻ってきて欲しいです。

あー。違います。

こっちは全体を照らすので、真ん中に立って下さい。

はいはい。オッケーでーす。

ちなみにですけどー先輩。

これにゼラを入れるなら、何色がいいですかね？

はいはい。じゃあ赤入れますねー。

いえいえ。なんでもいいので、これで行きましょう。

じゃあ次は反対側。

上手のフロントサイド調整するので。

いったん降りますねー。

SE:階段を下りる音。

【演技:ここからまた普通の距離での会話】

【位置:正面斜め右耳側30センチ】

ふう……。階段の上り下り、体力使いますねえ……。
インドアの私にはつらいです……。

ん？ なんです先輩。

かっこいい？ 私がですか？

ふむ。かわいいと言われることはそこそこあるのですが……。
かっこいいと評されると。少し変な気分です。

いえ、悪い気はしませんよ。

どうもありがとうございます。先輩。

……。

じゃあ褒められついでに。

もうちょっと照明のうんちく。

私のかっこいい講義、聞いていきます？
ええ。

では1番から3番のフェーダーを、上げてみてください。
ん。そうそう。おっけーです。

【位置:正面30センチ】

……この照明はですね、先輩。
地明かり(じあかり)と言って、舞台全体を照らすための照明です。
全校集会などでも使われる、基本のオーダーなのですが、
少し違和感、ありませんか？

そう。この地明かり（じあかり）は、集会などで使われるモノより、少し狭いんです。意図的にそうしました。

文化祭の舞台って、基本的にバンドとかで、5人前後しか舞台上がらないでしょう？
しかも大体は、舞台慣れしていない素人さんたち……。そういった場合って、

普通の地明かり（じあかり）で舞台全体を照らすと、舞台に対して人がすごく小さく見えて、迫力に欠けるんですね。

だからこうして、わざと照明の範囲を搾ることで舞台を小さくみせて、少人数の素人バンドでも迫力が出るようにしたんです。

例外的に吹奏楽部だけ大人数で、この地明かり（じあかり）だとはみ出ちゃいそうですが……。そこは他の照明でフォローすれば、何とかなるでしょう。

…とまあ。そんな感じで。
何気ない照明にも、色々な思考があるということを、少し語ってみました。

あんまり照明とか音響とか、裏方を舐めちゃダメですよー先輩。

あはは。分かってるなら、良いんです。

では。そろそろ続きをしましょうか。
下手のフロントサイド、上がりますね。
二番のフェーダーを上げてください。先輩。

トラック4…好き好き耳舐め手コキ

【位置：正面30センチ】

はあ……。 (溜息)

はあ……。 (溜息)

はーあ……。 (溜息)

いや、今日の会議で決まったことを考えれば、
そりゃ溜息も多くなりますよ。

ええそうです。

委員長がミスコンの司会をやることについて、です。

今年のミスコン、実行委員がうまく回ってないこともあって、
あまりリハもやれない、不安定なモノになりそうなんですよ？
それをあの適当な委員長が取り仕切るとなれば……。
グダグダになるのは想像にかたくありません。

正直、目立ちたがりな彼女が司会に立候補するのは、
なんとなく読めてましたけど……、

いざそうなってみると、中々絶望感がありますね。

文化祭の目玉イベントですのに、どうなることやら…。

ホント、頭が痛いです。

そこなんですよねー…。

じゃあ誰がやれば良かったのかと言われると、なかなか難しい話です。
私や先輩がやるにしても、

この雑務に忙殺されている状況で司会を仕上げるのは大変ですし。
そもそも私たちがこれ以上出しゃばりすぎると、

ここの人間関係も、いよいよ不安定になっちゃいますし……。

結局一番ベストなのは、生徒会長とかの、責任感とスペックのある外部の人に頼むことだったのかもしれませんが、まあ委員長があそこまでやりたがっていた以上、どんな意見も通らなかつたでしょうけど……。

そうですね。

当日何とか、私たちがフォローに回るしかないでしょう。

と言っても、私は照明係と放送係なので、あまり身動き取れませんから、先輩に任せることになりそうですが。

なんとか……。なるといいですね。
はあ……。

SE: パソコンをタイプする音。

あー……。ダメだ。ダメです先輩。
なんか色々考えちゃって、頭がモヤモヤします。
全部委員長のせいですよ。はあ……。……。

よし。こうなったらアレです。
一度先輩とエッチな事をして、
頭をリセットしないとです。

ああ、いえ。

さすがにここではやりませんよ。
校内でそんなことする程、私は馬鹿じゃありません。
今日帰るとき、また私の家の近くの公園で、
行為に及ぶとしましょう。

ええ。おちんちん予約しました。
お願いします。先輩。

場 転

【位置…正面斜め右耳側30センチ】

じゃあ公園についたことですし。
約束通り、エッチな事して貰いますよ。先輩。
まずはベンチに、お座りください。

【位置…正面15センチ】

では先輩。脱がせますよー…。
ん、しょ……っと。

おー…。おちんちん、ちゃんと大きくなってます。
こんなに固くして。たまってるんですか？
結局忙しくて、あれ以来エッチできてませんもんね。

まあ。期待して良いですよ、先輩。
ご無沙汰してる分を取り返すくらい、
今日はいっぱい、おちんちん気持ちよくしてあげますから。
プレイ内容は、普通に手コキなんですけど…。
先輩を感じさせる秘策があるので、楽しみにしてください。ふふっ。

【位置…次のセリフで右耳側5センチへ移動】

じゃあまずは、密着しましょうか。

【位置…次の「ぎゅーう」で、右耳側0センチへ近づく】

ぎゅーーう。

【ここから囁き（有声音）】

そんでおちんちん握って。しごきますね。
ほーら。先輩の大好きな。女の子の柔らかいお手ですよー…。

SE:手口音

すう……。ふう……。 （耳元で呼吸音1回）

ふむ。おちんちんというのは、相変わらず不思議な感触ですねえ。
むにむにとして、温かくて。生き物のようで…。

でも私、このおちんちんの感触、大好きです。
おちんちんすき。おちんちん好き。先輩おちんちん、だーいすき。ふふっ。

あ、先輩。またちょっと緊張してます？
ダメですよー。力を抜いてください。

前に言いましたよね。リラックスした方が、気持ちよくなれるって。

そーそー。リラックスです。

私に体を預けて、いっぱい甘えちゃいましょう。

良い子。いい子。先輩はいい子ですねー。

好き…。大好きですよー先輩……。

じゃあ……。良い子な先輩には早速。

先輩を気持ちよくする秘策を、披露してあげましょうかね。

ふふっ。えっとですねー先輩。

秘策と言うのは、先輩の耳を…。

【耳舐め10秒】

……って、なめちゃうことです。

ふふっ。お耳をなめた瞬間に先輩の体、ビクッて反応しましたねえ。
甘い喘ぎ声まで上げて……。

私の秘策、効果てきめんで嬉しいです。

今日はこのまま、いっぱいお耳にべろちゅーしてあげますからね。
沢山沢山、気持ちよくなって下さいよー……。先輩……。

【耳舐め15秒】

はぁ……。いい気分……。

耳舐め。私結構、好きなプレイです。

あのですね先輩。

キスとか。耳舐めとか。

「味覚でも先輩を感じられるプレイ」が、私は好きなんですよ。
五感が先輩で満たされると、すごく幸せで。

私、いっぱい興奮しちゃいます。

ほら。もっと。

もっと耳舐めで、私に先輩を摂取させて下さい。

代わりに先輩には、私の女の子成分を、たくさん上げますから。

好き。好き。先輩、好きですよー……。ふふっ。

【耳舐め20秒】

……にしても先輩、随分と喘いでますねえ。
高くて媚びるような、女の子みたいな声……。

私、先輩のその喘ぎ声も、すごく好きなんですよ？
力を抜いて、私に少し抱きつきながら、
甘えるように「あんあん」って声漏らすの。
かわいいなと思います。

かわいい。かわいいですよー先輩。
好き。好き。好き。好き。

先輩の可愛い声、大好きです。

…あと。

声以外にも私、先輩の好きなところ、沢山ありますよ。
顔が好き。心が好き。敏感な体が好き。
甘えんぼな所が好き。エッチ中、受け身なところが好き。
私のこと、ちゃんと好きなのところが好き…。
好き。好き。好き。好き。
好きなのところ盛りだくさんですよ。先輩。

【耳舐め20秒】

好き。好き。好き。好き。

かわいい。かっこいい。大好き。大好き。

気持ちよくなーれ。気持ちよくなーれ。

女の子の柔らかいおててで、

おちんちん気持ちよくなーれ……。

……おや。おちんちんからトプトプって、我慢汁があふれてきました。
先輩おちんちん、ちゃんと気持ちよくなれて、とってもいい子です。

よしよし。よしよし。おちんちんいい子ですねえー。

大好き。大好き。おちんちんも先輩も、私大好きですよー。ふふっ。

ん……。好きっていいすぎですか？

そうですね。今日はなんか、沢山言ってる気がします。

いや……。好きって言う就先輩おちんちんがいっぱいぴくぴくするので、それが面白くてつい、言ってしまうんですよ。

すーき。おちんちんぴくぴく。

大好き。おちんちんぴくぴく。

ふふっ。私の言葉で簡単に反応する先輩おちんちん。かわいいです。好き……。

【耳舐め20秒】

好き。好き。好き。好き……。

かわいい。かわいいですよー先輩。

大好き。大好きです……。

あー……。後ですね、先輩。

私がこうして先輩に好き好き言っているのは、けん制するためというのも、あるんですよ。

そう。けん制です。

こうして何十回も先輩の耳元で、好き好き大好きって囁いておけば、もしも先輩がほかの女から、

好きって告白されるようなことがあったとしても、

私のこの囁き声が、脳裏に浮かぶようになるでしょう？

そんな風に、先輩の頭に私の好きって声を刻み込むことで、ほかの女からの告白を、けん制してるわけです。

いや、分ってますよ。

先輩が浮気するような人じゃないってことくらい。

ただ、ほかの女に告白されたとき、

少しでも先輩の意識がそいつに持っていかれるのが嫌なんです。

だから先輩。

私の好き好きって言葉をたくさん聞いて、

頭を私の声で、埋め尽くしましょうね。

おちんちんぴくぴくさせながら、後輩彼女の好きに、埋もれて下さい。

好き。好き。好き。好き。

大好き。大好き。大好き。大好き。

ラブ。ラブですよ。先輩。

私、あんまり感情を表に出さないタイプですけど、

先輩のこと、実は相当滅茶苦茶好きなんです。

デレデレです。べたばれです。

先輩大好きっ子な、後輩彼女なんですよ。先輩。

【耳舐め20秒】

好き。好き。好き。好き。

大好き。大好き。かわいい。大好き。

おちんちん好き。おちんちん好き。

先輩好き。私の先輩、大好き。

んー？

先輩も好き？

知ってますよ。

おちんちんこんなにぴくぴくさせてますもん。

好き同士。両想いですよ〜先輩。
幸せですねえ。

いい子、いいこ。好き。大好き。ふふっ。

【耳舐め20秒】

……ん。そろそろ出ます？

ふふっ。いいですよ。出してください。

飛び散らないよう、今日は私のハンカチで受け止めてあげますから。
思う存分びゅーびゅーお射精、しちゃいましょうね。

じゃ。しごくの早くして、おちんちん追い詰めていきますよー。
ほらほら。どんどん射精感、高まっていきますね。

ふふっ。体はねさせて……。

好き。大好きです。先輩……

【耳舐め15秒】

ん。限界ですか？

分かりました。じゃあ……えっと。

今日は好きで、カウントダウンしましょうか。

ええ。

今から私、4回好きって言って、

そのあと5回目を、好きって言いますから。

その大好きに合わせて、射精してください。

ふふっ。大好きって言われながら射精するの、
きつとすごく、幸せだと思いますよ。

では行きますね〜先輩。

4回好きって言った後の、大好きでお射精。
頑張ってください。

すーき。

すーき。

すーき。

すーき。

はい。

だいすきです。せんぱい。

びゅーびゅーびゅー。

びゅるー。びゅるるー。

どぶどぶ。とぶとぶ…。ぴゅっ。ぴゅっ。ぴゅっ……。

ふふっ。幸せそうな顔。

気持ちいいんですね。

もうちょっとおまけで、大好きって言ってあげますから。
最後まで出し切っちゃいましょうか。

大好き。大好き。大好き。大好き。

お射精してる先輩、お顔トロトロでかわいいですねえ。
かわいい。かわいい。大好きですよー…。

【耳舐め15秒】

ん……。出し切りました？

おー……。いっぱい出ましたね。

私のハンカチが先輩の精液で、真っ白に染まっちゃいました。
女の子の私物をこんなにしちゃうなんて、
なかなか悪い先輩です。ふふっ。

【囁き終了】

【位置：正面斜め右耳側30センチ】

んーっ。ふう……。 （伸びをして息をはく）

いやー、いい気分です。

やはり先輩とのえっちは最高ですね。

もやもやしていた思考も、リセットできましたよ。

今日はよく眠れそうです。

先輩も、すっきりしました？

それは良かったです。

そうですね。最近私たち、根を詰めすぎてました。

家に仕事を持ち帰るのも、当たり前になってきましたし……。

まあこれからは、今日みたいなえっちでのリフレッシュを、
定期的に行うようにしましょう。

心を健全に保つ事は、頑張るうえで何よりも大切ですからね。

次はもっと、先輩を気持ちよくする方法を考えてくるので、
楽しみにしてて下さい。先輩……。

トラック5…誰かが。

【位置…正面斜め左耳側30センチ】

ああ、先輩。お疲れ様です。

ええ、まだほかのメンバーは来ていません。
なんだか今日は、皆さん遅いですね……。

まあ別に、来てもらわなくてもいいんですけど。
あの人たち、作業してる風を装うだけで、
雑談ばかりで何もしませんから。

ん？ そうですか？

まあ、最近寝不足ですから。

クマができるのは仕方ありません。

というか、女の子のクマを指摘するの、デリカシー無いですよ先輩。
私女の子ですし、想い人にそういう顔見られるの、
普通に嫌なのですが……。

いや、そういうタイミングでかわいいというと、
女の子によってはキレますからね。
私はまあ、悪い気はしないですけど……。

……。

SE:作業の音

【ここから少し深刻そうな話をしますが、

雰囲気は重くしたくないので、

いつも通りの演技をしてください。】

【位置：正面30センチ】

ねー先輩。

間に合うと思います〜？ 文化祭準備。

あと一週間と少し……ですけど。

その間にやらなければいけないことが、
大きく5つあるんですね。

校門回りや体育館の装飾。

足りない音響機材の手配。

パンフレットや食券の印刷や切り分け。

ミスコン出場者の写真撮影。

そしてミスコンのリハーサル……。

私はしょーじき、間に合わない気がしています。

字面だけ見ればまあ、ギリ何とかかなりそうなラインですけど、

当日に向けて備品の貸し出しが増え、その整理に追われること、

イレギュラーもある程度起こること。

そういうことを加味すると、

私と先輩二人だけでこれらを成すのは、

難しいと言わざるを得ないでしょう。

残りの実行委員のメンバーが、

せめてもう少しはまともに頑張ってくれないと、

文化祭は中途半端に……。いえ、最悪失敗するでしょうねー…。

……。

……あのさ、先輩。

そろそろ、メスを入れるべきなんだと思います。

先輩だって、気づいてるでしょう？

もう誰かが、ブチギレなきゃいけないってこと。

あの人たちに、「甘えてないでちゃんとやってください」って。
しっかりモノ申さなければ、状況は改善しません。
やりたくない……ですけどね。そんなこと。

……まあ。私がやりますよ。

先輩は男の人ですし、

女性である委員長に強く出るのは、分が悪いでしょう。
任せてください。

何をどう言うか、色々考えてきたので。

……。

……はい？ なんです？ 先輩。

……は？

いや、待ってください。

「既にチクった」っていうのはつまり、

委員会の現状を先生に話したって事ですか？

あ、もしかして今日、ほかのメンバーが遅いのって、
先生に怒られてるから……ですか。

あー……。そうだったんですね……。成程……。

はあ……。なんか気が抜けました。

私、ブチギれるために覚悟とか、してましたのに。
先輩が先に手を打ってたなんて……。

いえ、ありがとうございます。

私が怒るより、

先生に怒られた方が効果的ですし、良い判断だと思います。

じゃあ……。アレですね。

空気が悪くならないように、

怒られた皆さんにかける言葉でも、準備しておいた方がいいですね。
……こほん。

【演技…次の「」の中、棒読みっぽく】

「えー？ 先生に怒られたんですかー？

皆さんすっごく頑張ってるのに、

先生って意味わかりませんねー。かわいそー。」

こんな感じで、いかがでしょうか。

完璧？ それは良かったです。

……。

あの、先輩。

面倒な役を引き受けてくださり、ありがとうございます。

ええ。委員会。少しでも回るようになるといいですね。

トラック6：密着囁き素股

SM：ホッチキスで止める音。

【位置：正面30センチ】

ふう……。やっと終わり、ですか？

いや、ホントに疲れました。パンフレットの製本。

もうちょっと予算に余裕があれば印刷所に頼めたんでしょうけどね…。

しばらくホッチキスは握りたくないですよ。私。

まあでもこれで、土日間に終わらせたかったモノは終わりましたし。少し気は楽ですね。

せっかくの日曜日、残りの時間はゆっくり過ごしましょう。先輩。

というわけで……。先輩。

くつろぎたいので、膝枕してくれませんか？

ええ、先輩がする側ですよ。

ほら。正座してください。せーざ。

【位置：正面15センチ】

うーん……。先輩の太もも、寝心地悪いですねえ。

筋肉質だし、高さも合わないですし。枕としては3点ぐらいです。

いいえ。ときませんよ。

先輩の膝枕と言うだけでプラス1億点くらいあるので、どきたくありません。ふふ……。

しかし……。何とかかなりそうで良かったですよ。文化祭。

先生に怒られたことで、

それなりに実行委員が機能するようになりましたし、

私たちの委員会内での発言権も、少し強くなりましたし……。

結局、学校での問題解決において、先生というカードは最強ですね。私たちではどうしようもなかった現状も、先生が小一時間搾っただけで簡単に好転して。なんかちょっと、悔しいです。あはは……。

ところで先輩。今日は何時ごろに帰る予定です？

おや、結構早いですね。何か予定でもあるんですか？

あー……。髪を切りに……。

そういえば先輩は明日の放課後、法事があるんでしたっけ。

ふむ……。となるとアレですね。

先輩が帰る前に、さっさとえっちなこと、した方がいいですね。

えー……。しましょうよ。

せっかく休日、彼女の家に遊びに来てるんですよ？文化祭準備だけで終わるとか、もったいないでしょう。

ていうか片付け大変だったんですから、私をねぎらう意味でも、エッチな事してくださいよ。ほら、ベツト行きましょう。先輩。

【位置：正面斜め右耳側15センチ】

じゃ、脱がせますねー…。

よいしょ……っと。

おー……。フル勃起……。

先輩のおちんちん、私が脱がせると、いつだってピンピンですね。

突っついちゃいましょうか。

っんっん、っんっんっん……。

彼女大好きなのろけおちんちん、かわいいです。ふふっ。

さて。それでは先輩。私もスカート脱いじゃいますね。

ええ、今日は私も脱ぎます。やりたいプレイがあるので。
ん、しょ……。

よし、脱げましたー。

おや。おちんちんビクビクさせて。

私のパンツ姿、興奮しますか？

先輩に下着を見せるの、何気にこれが初めてですもんね。

いや。馬鹿言わないでください。

いつもこんな、エッチな下着をつけてるわけじゃないですよ？
先輩とのえっちのために、今日特別に履いただけです。

何せ今日は、

このパンツをおちんちんに擦り付けるんですから。

ふふっ。そうですよー。

この、黒くてエッチな私のおパンツを、

先輩おちんちに擦り付けるんです。

いえ、正確には、パンツをはいた私のおまたを、

先輩おちんちに擦り付ける、と言っべきでしょうか。
ようするに今日のプレイは、素股、というわけですね。

【位置：次のセリフで右耳側15センチへ移動】

ほら、こっち側を向いて寝てください。先輩。

横向き同士の向かい合った状態で、素股してあげます。

【位置：正面5センチ】

ん。じゃあ先輩おちんちん、私のおまたで挟んじゃいますね。

【位置：次の「行きますよー」で、左耳側のセンチへ移動】

いきますよー…。

ぎゅっ……っ。

【ここから囁き（無声音）】

ふふっ。なんかこれ、挟んでるだけでドキドキしちゃいますね。
この体勢、まるでセックスしてるみたいで、すごく興奮します。

先輩おちんちんの方は、大丈夫ですか？

すぐおちんちんビクビクしてますけど、

挟んだだけでイっちゃいそうに、なってません？

ふむ。さすがにそこまで早漏ではないですか。

じゃあ動いても、問題ないですね。

ええ、動きますよー先輩。

ぎゅーうって抱き合って、このまま。

腰を、前後に……

SE：素股スタート

【ここからの演技、少し喘ぐ感じで】

んっ……。あっ……。ふう……。ふう……。

んっ……。ふう……。あっ……。はぁ……。

ふふっ。どうですー先輩。気持ちいいですか。

先輩の筋肉質なのとは違う。

女の子の柔らかい太ももでおちんちん挟まれて。

そのうえでエッチな下着をズリズリ擦り付けられるの。

幸せですよ。

んっ……。ふう……。はぁ……。ふう……。

ねえ先輩。

この、おちんちんに擦り付けられてる薄いおパンツの向こう側には、女の子の、一番エッチな場所が、あるんですよ。

…おまんこ。おまんこ。

先輩のこと大好きな後輩女の子の、トロトロなおまんこがあるんです。

んっ……。あっ……。はぁ……。はぁ……。

ほら先輩。おちんちんに押し付けられる私のおまんこの感触、いっぱい感じてくださいねー…。

おまんこズリズリ。おまんこぬちゅぬちゅ……。

あったかいでしょう？ 柔らかいでしょう？

おちんちんにいっぱい女の子を感じて、ビクビクが止まりませんよね。

んっ……。あっ……。ふう……。ふう……。

そのうちここに、おちんちん入れさせてあげますから。

期待しながら、気持ちよくなるといいですよ。先輩……。

【耳舐め20秒】

んっ……。あっ……。ふう……。ふう……。

んっ……。ふう……。んっ……。はぁ……。

ええ。そうですよ。

私も気持ちいいんです。これ。

先輩みたいに派手に喘いだりはしませんけど、
ちよっと声が漏れちゃうくらいには、感じてます。

んっ……。ふう……。はぁ……。ふう……。

いやいや、派手ですよー？ 先輩の喘ぎ声は。
さっきから女の子みたいに、
かわいくあんあん悶えてるじゃないですか。

ほら。

あんあん。あんあん。

ダメダメ。らめらめ。

もうイっちゃうー…って。

ちよっと盛ってる？

やだなー。そんなことないですよ。ふふふっ。

んっ……。あっ……。ふう……。ふう……。
あっ……。んっ……。ふう……。ふう……。

【耳舐め20秒】

んっ……。んっ……。ふう……。ふう……。
ふう……。はぁ……。あっ……。んっ……。

ねー先輩。分かりますか？

私のおまんこが、どんどんトロトロの熱々になっていくの。

最初から十分トロトロでしたけど、先輩おちちゃんと擦り合わせるたび、さらに輪をかけて、

ほかほかぐちゅぐちゅのえっちなおまんこになっていってます。

んっ……。はぁ……。んっ……。ふう……。

これはあれですね。

バレちゃいますね。私が先輩大好きだーって事。

おまんこから駄々洩れになってる好意が、

先輩おちんに伝わっちゃいます。ふふっ。

じゃあほら。

説得力マシマシの、大好きを囁いてあげますよー先輩。

おちんにぐっちゅり密着してる、

私の発情トロトロおまんこを感じながら、

受け取ってくださいね。

はぁ……。はぁ……。んっ……。ふう……。

（「『好き好き』をいう前に、分かりやすいブレスが欲しいです」
すう…。

好き。好き。好き。好き。

大好き。大好き。大好き。大好き。

おまんこトロトロでしょう？ 好きだからです。

おまた熱々でしょ？ 好きだからです。

喘いでるのも、好きだから。

ぎゅって抱きついてるのも、好きだから。

好き好き大好き。全部大好きだからですよー…。

先輩……

んっ……。そろそろですか？

ふふっ、先輩が射精するタイミングも、なんとなく分かってきましたよ。射精しそうになると先輩は、

甘えるように体を摺り寄せてくるんですよ。かわいいです。

んっ……。あっ……。ふう……。はぁ……。

じゃあ……。いいですよ。

このまま私のおまたで、いっぱいお射精してください。

あ。せっかくですから射精のタイミングで、

私のおまんこの入口と先輩の亀さんを、

パンツ越しにくっつけちゃいましょうか。

おまんこ接射でビュービューお射精、

きっとすごく気持ちいいですよ。ふふっ。

【耳舐め20秒】

はい。限界ですね。出ちゃいますね。

おパンツ越しにおまんこめちゅめちゅこすれ合って、おちんちんからいっぱい精液、吐き出しちゃいますね。

ほら。イって下さい。

出して。出して。射精して。射精して。

でる。でる。出ますねえ先輩。

限界おちんちんからびゅーびゅーどくどく、

お漏らししちゃいますねー。

はい。じゃあおまんこの入り口と亀さんを、くっつけますよー。

ぴとー……っ。

お射精どうぞ。せーんぱい。

びゅーびゅーびゅー。

びゅるるー。びゅるるるー。

んっ……。あっ……。熱い……。

パンツ越しに精液、いっぱい感じます…。

【囁き終了】

【位置…次の呼吸音の間に、正面5センチへ移動】

すう…。ふう…。すう…。ふう…。

ふふっ。先輩の顔、トロトロですねえ。

セックスぎりぎりの素股から、

中出しぎりぎりのおまんこ接射。興奮します？

じゃあキスで、全部出し切ってくださいねー、先輩……。

【深めのキス20秒】

よし。出し切りましたね。

あはは。私のパンツ、先輩の精液でぐちゃぐちゃになっちゃいました。このせーえきの量、パンツ越しでも孕んじゃいそうなくらいです。

いいえ。このために履いたおパンツなので、汚されても問題ないです。

てゆーか先輩。こういう時に謝るのは悪い癖ですよ。こういう時は、「ありがとっ」って言ってください。

ええ、どういたしまして。

私も結構気持ちよかったですよ。ありがとうございます、先輩。ふふっ。

【位置：正面30センチ】

さて。そろそろ先輩、帰る時間ですかね。
美容院の予約、してるんでしょう？

ええ。明日に向けて、しっかりカットしてきて下さい。

ああ、そうですね。

明日は私の方も、頑張らなきゃです。
なにせ放課後に、ミスコンのリハーサルがありますから。

いや。

そりゃありハーサルは、不安ですよ。
特に委員長が司会をやることとか、
委員長が司会をやることとか……。

でも先生に叱られた後ですし、何とか仕上げてくるでしょう。
土日挟みましたし、そんな壊滅的な事には……ならないと思います。
あはは……。

いや、大丈夫です。先輩が休んでも問題ありません。
大切なひいおじいさんの七回忌。大事にして来て下さい。

はい。じゃあお見送りしますね、先輩。

トラック7：空っぽの手を握り締めて

SE：電話の鳴る音

【位置：右耳側30センチ】

ああ、すみません先輩。こんな夜中に電話して。
法事……。終わりました？
そうですか。

あの一……先輩。ちょっとこのまま話を……。

……いえ。できれば少し、会えませんか。
ちよっとそういう、気分です。

ありがとうございます。

はい。公園で、大丈夫です。
待ってますね、先輩。

【位置：正面30センチ】

こんばんは、先輩。
改めてすみませんね。夜中に呼び出してしまって。
お礼と言っては何ですが、おしるこ、どうぞ。

SE：おしるこを手渡す

どうでした？ 法事は。
そうですか。
おいしいですよ、鯛の刺身。
私、魚の中で一番好きです。

……。

…まあ。さっさと本題、入りませうか。
座ってください。先輩。

SE:座る

【位置：右耳側30センチ】

えっと、ですね。

先に結論から言うと、今日の放課後、
委員長が泣いて帰っちゃったんですよ。

はい。順を追って、説明します。

先輩が法事へ行っていた今日の放課後。
知っての通り文化祭実行委員では、

ミスコンのリハーサルをやっていました。

本番五日前、唯一出場者全員が集まる、大事な合わせです。

でも、司会の委員長が、急遽遅れることになったんですよ。
なんでも、小テストで赤点を取って、居残りになったとか。
それで、

せっかく集まってもらった出場者を待たせるのもアレなので、
委員長が来るまでは、代わりに私が司会を務めて、
リハーサルを進めることになったんです。

リハは順調に進みました。

私は照明担当なこともあって、
ミスコンの流れはある程度頭に入っていましたし、
代理で務める司会としては、
十分すぎるパフォーマンスを発揮できました。

それで、20分くらい経った頃に委員長がやってきたので、司会を交代して、リハーサルの続きを行いました。

問題はそこからです。

委員長は、全然司会を、こなせなかったんです。

あの様子だと、進行台本にまったく目を通してなかったんでしょうね。出場者の名前を間違えたり、場面が一気に飛んだり、そんなのばかりで。

それでも何とか、グダりながらもリハーサルは終わったんですよ。

ただ、そのあと解散する間に、誰かがボソッと呟いたんです。

「最初の子に司会変わった方がいいんじゃない」って……。

それを聞いたからか委員長、

実行委員の教室に戻ったあと泣き出しちゃって。

この前先生に怒られたことも含め、

プライドがズタズタになったんでしょう。

それでそのまま、

「もう司会なんかやらない」って、ヒステリー起こして帰っちゃいました。

……とまあ、これが今日のリハーサルの顛末です。

はぁ……。 (溜息)

SE: ベンチから立ち上がり先輩の前へ移動

【位置: 正面30センチ】

ねー先輩。私は、どうしたらいいんでしょうね。

前みたいに、先生に報告するべきでしょうか？

でも。それで先生がまた怒って、委員長を司会の座に引きずり戻したとして、プライドがズタズタになった状態の委員長が、満足に司会をこなせるとは思えません。

それどころか、当日バックレる可能性すら、大いにあるでしょう。

かといって、本番が週末に迫ったこの状況で司会を交代できるほど、今の実行委員に余裕は無いですし……。

すう……。ふう……。(呼吸音1回)
……。

【ここから、寂しそつにつぶやく(まだ泣かないで下さい)】

……あのさ。先輩……。
やっぱり……。ダメなんですかね。

【ここら辺から、少し作り笑いをする感じで、それでも寂しそつに】

なんとか形にしようって。
私たちだけでも、投げ出さずにいようって、
必死にここまで来たんですけど。
結局私たちは、翻弄されるばかりで。
みじめで中途半端なモノしか作れないまま、
終わっちゃうんでしょうか…。

【この辺から、徐々に涙をにじませていく感じで】

なんでかなあ……。
こんなになっても私、手放さずにいるのに。
なんであの人はこれしきのことで、やめるなんて言えるのかなあ……。

【ここから、泣くギリギリ位の声で、訴えるように。】

【6行目最後の、】

「せんぱい……。」だけは、泣いて消え入りそうな感じで

……私もっ。諦めればいいんですか？

そうすれば、全部楽になるんですか？

…わかんない。

わかんないですよ。

私、どーすればいいんです？

ねえ先輩…。教えて。せんぱい……。

……。

すう……。はあ……。

すう……。はあ……。(ここの呼吸2回で、乱れた呼吸を整える)

【ここからは泣き止んで、ちょっと涙声で。】

ん……。

いや。それさっき、私が先輩に上げたやつじゃないですか。

……でも、そうですね。一口貰います。

SE:おしるこを手渡す。

ん……。

SE:飲む音

【この辺から、涙声も収まる感じで】

ふう……。

おいしい……。

良いですね。

温かくて、甘くて……。少し、落ち着きました。

……。

そういえば、先輩。

付き合い始めたあの日も、私、

ここでこうして、ホットココアを飲んでましたね。

一口勧めたのに、先輩が間接キスを拒んで、

そのあとなんやかんや、ハグして、手コキして……。

随分前のことのように思えますけど、

あれからまだ、二週間しかたってないんですね、
私たち。

……ねえ先輩。思い出しましたよ。

あの日の最後に、誓ったこと。

文化祭、絶対成功させましょうって。

そう言いました。私。

……なら。やっぱり頑張らないといけませんね。

この約束は、守らないとですもん。

大好きな先輩と付き合えた日に交わした、

大切な約束ですから。

【位置：正面斜め右耳側30センチ】

【演技：ここから仕切りなおす感じで】

さて。それじゃあ考えましようか。

委員長が出ていった今の実行委員で、なんとか文化祭を成功させる方法。

なにか……。案とがあります？ 先輩。

おや。あるんですか。さすが先輩。

聞かせてもらえます？

はあ……。委員長を連れ戻すのは……。まあ良いですけど。

どうやって連れ戻すんです？

さっきも言いましたけど、無理やり連れ戻すだけでは、
プライドがボロ雑巾になった委員長に司会は務まりません。

司会をやらせるならなんとかメンタルを回復させて、
前向きに取り組ませ、本番までに仕上げてもらう必要があります。

はい。はい。……はい。

えー……。そんなことするんですか。

滅茶苦茶気持ち悪い方法ですね。正直やりたくないんですけど……。

まあ、そうですね。

単純ですが、理には適ってます。

……じゃあ、そうしますか？

その、「委員長をべた褒めして、連れ戻す作戦……」
……ちよっとやってみましょうか。

【位置：正面30センチ】

えー。コホン。

【演技：ここから棒読みで】

「委員長ー、帰ってきてくださいよー。

委員長がいないと、実行委員が全然回らないんですー。」

「私が司会をうまくできてたのは、前半の方だからですよー。

委員長がやった後半の司会は、私から見ても滅茶苦茶難しいですしー。

むしろ委員長はよくやったというか、私よりよっぽどまいというか。

マジ最強です。天才ですよ委員長ー。」

……どうです？ こんな感じで。

完璧？ それはどうもです。

では、他の実行委員もなんとか巻き込みつつ、

明日の昼休みにでも決行しましょうか。

あと、進行台本も修正しておきましょう。

最悪それを見ればどうとでもなるよう、

細かいセリフまで、書いておく方向で。

ええ。頑張りましょうね。先輩。ふふっ。

えっと……それでは。

方針も決まったことですし、そろそろ解散しましょうか。

はい。お疲れさまでした。

夜遅くなのに。ホント、ありがとうございます。

あの一……最後に、キスしていいですか？
ん。しますね。

【位置：正面5センチ】

はむ……

【優しくキス10秒】

ふふっ。大好きです。先輩。

トラック8：孕ませ煽り生ハメ密着騎乗位

【位置：正面斜め右耳側（出来れば少し下の方）】

はい。押さえましたよ。どうぞー。

SE：電動ドライバーでねじを打ち込む音

ん。オッケーですね。脚立（きゃたつ）、気を付けて降りてください。

【位置：正面30センチ】

んーっ。ふう……。 （伸びをして息を吐く）

いやー……。 なんとか間に合いましたね。文化祭準備。

一時はどうなることかと思いましたが、
無事明日を迎えられそうで何よりです。

ええ、委員長も問題なさそうでしたよ。

さっき体育館で少しだけ合わせをしましたが、
それなりに司会を成立させてましたし。

恥をかかないよう、多少は練習したんでしょうねえ。

サルもおだてりゃ木に登るとは、よく言ったものです。

ところで……。先輩。

今日は帰りに、私の家に寄ってくれませんか？

いや、アレですよ。

文化祭前日と言うことで、景気づけにえっちなこと、したいんです。
いいでしょう？

ええ。では各自解散らしいので、
さっさと片づけて。帰りましょう。先輩。

SE:扉を開ける音

【位置:右耳側30センチ】

ほい。私の部屋に到着です。
では早速ですけど、ベットに行きますよー先輩。
明日は文化祭当日ですし、
あんまり先輩の帰りが遅くなるのもアレですからね。
さっさとエッチな事、しちゃいしょう。

SE:ベットに寝る音

【位置:正面斜め右耳側30センチ】

脱がせますから。腰上げてください。

ん。ぬぎぬぎー…っと。

ふふっ。いつも通りちゃんと、フル勃起してますねえ。
おちんちんぴくぴくさせて、かわいいです。

では先輩。今日ですね。

いよいよ本番。

セックスを、しますよ。

ええ。

私の処女を、先輩おちんちに捧げちゃいます。

いやー…、本当は私も、

文化祭終わった後にするつもりだったんですよ？

でも、この前素股をした時から私、先輩とセックスしたい欲が抑えられなくなってまして…もう我慢できないので、今日することにしました。

ね？ いーでしょう先輩。

先輩も私とセックス、したいですね？

ん。ではそのまま寝ててください。

私が全部、してあげますから。

【位置：「またがりまして」で、正面15センチへ移動】

ほら。早速おちんちんに、またがりまして…。
いれますよー先輩。

下着をずらして、腰を…落とすとっ……

んっ。んあっ……。

あっ……。あふっ……。(挿入)

【位置：次の呼吸音の最中で、正面5センチへ近づく】

はぁ……。はぁ……。はぁ……。はぁ……。

おー…。ちゃんと奥まで入りましたねえ。先輩…。

おちんちん、気持ちいいです？

ふふっ。キツいのは当然ですよ。

私処女で、先輩だけの女の子なんですから。

真面目な話、指も入れたこと無いんですよ？
先輩はそこに、おちんちんぶち込んだ訳なので、
ちゃんと責任、取って下さいね…

【深めのキス15秒】

じゃあ、動きますね。

【位置…次のセリフで右耳側0センチへ移動】

おちんちん、私の処女まんこで、おまんこしてあげます。

【ここから囁き（有声音）】

すう……。ふう……。…（耳元で呼吸一回）

SE…ピストン開始

【演技…ここからセックスなので、喘ぎながら】

んっ……。あっ……。あっ……。あっ……。あっ…。
あっ…。あっ…。はぁ…。はぁ…。
んっ…。んっ…。はぁ…。はぁ…。
あっ…。んっ…。はぁ…。はぁ…。

ふふっ。始まっちゃいましたよう。セックス。

おちんちんとおまんこ、いっぱい擦れあってます。

んっ…。あっ…。はぁ…。はぁ…。

おや。開幕からそんなに激しく喘いじゃって。

相変わらず感じやすいですねえ。先輩。

悶えてる姿、とってもかわいいです。

かわいい。好き。かっこいい。大好き。

初めてのセックスで、生ハメしちゃうくらいには、私先輩のこと、大好きです。

あっ…。んっ…。はぁ…。はぁ…。

んー…？

そうですね。今生ハメしてます。私たち。

あはは…。今更気づいたんですか？

初セックスだからって、余裕なさすぎですよ、先輩。

んっ…。んっ…。はぁ…。ふう…。

いいえダメです。抜いてあげません。

気づかなかった先輩が悪いので、このまま生で、続行させてもらいます。

えー？ まずくないですよ。

生ハメ、最高に気持ちいいじゃないですか。

気持ちいいのは、いいことです。

あっ…。あう…。んっ…。ふう…。

それとも先輩、私を突き放します？

突き放して…。私との関係にヒビを入れてでも、

おちんちん抜きますか？

あはは。困った顔して……。

そーいう顔、なかなかそそりますねえ。私の先輩……。

あっ…。あっ…。はぁ…。はぁ…。
あっ…。ふう…。んっ…。はぁ…。

んっ…。んっ…。はぁ…。はぁ…。
あっ…。んっ…。はぁ…。はぁ…。

ねー先輩、追加の情報。提供します。

んっ…。あっ…。ふう…。はぁ…。

えへへ。えっとですねー先輩。

私今日、ガチの危険日、なんですよう。

そう。危険日。

子作り孕ませ妊娠デー。

中出しすると、赤ちゃんができちゃう日です。

んっ…。んっ…。あっ…。はぁ…。

ほら。私のおまんこ、とっても熱々トロトロで、
先輩のおちんちんを、きゅーきゅー締め付けてるでしょう？
これは危険日特有の、発情おまんこの状態なんですよう。

あっ…。あっ…。はぁ…。はぁ…。

でもねー先輩。先に言っておきますけど。

私、先輩が射精しそうになっても、絶対おちんちん抜いてあげません。
このまま危険日の、

妊娠確定おまんこの中に、ビュービュー中出ししてもらいます。

だって私、先輩のこと大好きで、孕ませてほしいですから。
たっぷりビュービュー中出しして、
赤ちゃんつくっちゃいましょうねー…。

んー？ なんですか？

さすがに嘘？

おやおや。

中々先輩、私のことを信用してるんですねえ。

じゃあそう思ってたれば良いんじゃないですか？

その、私が危険日じゃないっていう根拠のない自信にすがって、
中出しで手遅れになると良いですよー…。先輩。

んっ…。あっ…。はぁ…。はぁ…。

ふふっ。不安そうな顔して…。

結局危険日かどうかなんて、先輩には分かりませんもんね。

いや、聞かれましても…。

私は最初からずっと、危険日ですって、言ってますよ？
マジですマジ。危ない日です。

ほら。孕ませてください。先輩…。

【耳舐め20秒】

んっ…。あっ…。あっ…。あっ…。
はぁ…。ふう…。んっ…。あっ…。

ああ……。好き……。

好き。好き…。かわいい。大好き…。

んっ…。はぁ…。あっ…。ふう…。

…ねえ先輩。中出し、回避したいですか？
その年で無責任に女の子を孕ませる、
ダメな男にはなりたくないです？

ふふっ。じゃあいーこと教えてあげます。先輩…。

んっ…。んっ…。はぁ…。ふう…。

あのですねー先輩。

中出ししたくなかったら、おちんちん小さくすればいいんですよ。

おちんちん小さくなれば、

さすがの私もセックスが終わるしかありません。

中だし、回避できます。

単純な話でしょう？

あっ…。んっ…。はぁ…。はぁ…。

だから先輩。

頑張っておちんちん、小さくしましょうか。

大好きな後輩の女の子に、ぎゅーって密着されて、

トロトロキツキツの処女おまんこで、

おちんちんぬぶぬぶされながら、

「好き好き大好き孕ませて」って、囁かれてますけど。

おちんちん小さく、してみましようね。

んっ…。あっ…。あっ…。あっ…。

あっ…。んっ…。はぁ…。ふう…。

好き。好き。大好き。大好き。

孕ませて。孕ませて。赤ちゃんつくろ？ せーんぱい。

【耳舐め20秒】

あっ…。あっ…。はぁ…。はぁ…。
あっ…。ふう…。んっ…。はぁ…。

おやおや、全然おちんちん、小さくなりませんねえ。
それどころかどんどん固くなって、
先輩の喘ぎ声も、激しくなってます。

んっ…。んっ…。はぁ…。はぁ…。

いいんですかー先輩。

このままじゃ、妊娠準備万端な私のおまんこに、
たっぷり中出しする事になりますよー？
私としては全然いいというか、
むしろ望むところなんですけど。
先輩的にはダメなんですよね？
なら頑張らないとです。

あっ…。あっ…。はぁ…。はぁ…。

ほーら。応援してあげますから。

おちんちん小さくしましょうよう先輩。

小さくなーれ。小さくなーれ。

先輩おちんちん、ふにゃちんになーれ。

大好きな女の子との生ハメセックスで、おちんちん小さくなーれ。
密着トロトロ交尾で、おちんちん小さくなーれ。

んっ…。あっ…。はぁ…。はぁ…。

気持ちいいですねー先輩。

女の子のいい香りがして、

大好きな甘い声が、耳をくすぐって、

危険日処女おまんこで、おちんちんラブラブピストンされて。

あっ…。んっ…。はぁ…。はぁ…。

でも。どれだけ気持ちよくても、

おちんちん小さくしなきゃ、ですよー…。

頑張れふにゃちん。頑張れふにゃちん。

先輩。だいすきです。ふふっ…。

【耳舐め20秒】

んっ…。あっ…。あっ…。あっ…。

はぁ…。はぁ…。んっ…。はぁ…。

うーん。ダメですねー先輩。

おちんちん、まったく小さくなりそうにないですねえ。

あっ…。んっ…。はぁ…。ふう…。

むり？

そーですか、無理なんですか。

ふふん。じゃあ結局先輩も、

私と赤ちゃん作りたいと思ってるって、そーいう事ですね。

んっ…。あっ…。あっ…。んっ…。

いいえ。変わらないですよ？ 何言ってるんですか。

こうやって耳元で、「孕ませて」って言われると、
どうしようもなく興奮するんでしょう？

危険日おまんこと生ハメセックス。

そう思っただけでおちんちんビクビクして、中出し準備、始めちゃう。
そんな状態なのにどの口が、

赤ちゃん作りたくないって言うんですかね？

んっ…。あっ…。はぁ…。はぁ…。

ほら。先輩が自分の孕ませ願望に素直になれるように、
孕ませおねだり、いっぱい囁きますよ…。

孕ませて。孕ませて。

孕ませて。孕ませて。

私、先輩の赤ちゃん欲しいです。

かっこいい先輩おちんちんで、

おまんこ孕みたいです。

中出し欲しい。中出し欲しい。

赤ちゃん欲しい。子づくりしたい。

種付け。種付けしましょうね〜先輩。

生でハメハメしてますから

このままびゅーびゅー出せば、

ちゃんと私、孕んじゃいますよ〜。

好き。好き。しゅき。しゅき。

大好き。大好き。だいしゅき。だいしゅき。

赤ちゃん。赤ちゃん。

孕ませて下さい。先輩…。

【耳舐め20秒】

んっ…。んっ…。あっ…。あっ…。
はぁ…。はぁ…。んっ…。はぁ…。

あはは。おちんちんの痙攣、止まりませんね。

喘ぎながら私にしがみついて、

もう私を孕ませる気満々じゃないですか。

孕ませおねだり、そんなに効きました？

んっ…。あっ…。あっ…。ふう…。

ふふっ。良い子ですねー先輩。

自分の欲求に素直になれて、とってもいい子です。

良い子な先輩には、私のおまんこで赤ちゃん作ってあげますからね。

【囁き終了】

【位置…次のセリフで正面5センチへ移動】

二人で気持ちよく。子作りしましょう？ 先輩……。

【深めのキス20秒（そのままキス続行して次のセリフ）】

んちゅ…。ちゅ…。好き……。しゅき……。ちゅぶ…。ちゅ…。
しえんぱい……。だいしゅき……。はむ…。むちゅ…。
孕む……。ちゅぶ…。

先輩おちんちんで、絶対孕みます……。ちゅば……。せんぱい…。
んちゅ……。ちゅぶ…。

【続行してキス15秒】

んっ…。んっ…。あっ…。あっ…。
はぁ…。はぁ…。んっ…。はぁ…。

ん…。そろそろ？

危険日おまんこに、中出ししちゃいます？

あっ…。んっ…。はぁ…。はぁ…。

ふふっ。いいですよ。赤ちゃん作りましょう。

じゃあ五秒数えるので、

数え終わったら私の一番奥で、精液吐き出してください。

子作りカウントダウン。いきますねー先輩。

んっ。あっ…。はぁ…。ふう…。

ごーお。

よーん…。

さーん。

にーい。

んっ。あっ…。

いーち。

【位置…次のセリフで右耳側のセンチへ移動】

はい。種付けどーぞ。せーんぱい。

【ここから囁き（有声音）】

びゅーびゅーびゅー…。

びゅるるー。びゅるるるー。

びゅくびゅく。どくどく。
ぴゅっ。ぴゅっ。ぴゅっ……。

おー……。出てますねー先輩。

私の危険日の、絶対妊娠しちゃう状態のおまんこの奥に、
ビュービュー精液、吐き出しちゃってますねえ。

孕んですよー…先輩。

今私、絶賛先輩の赤ちゃん、妊娠中ですよー……。

ほら、もっと出してください。

沢山精液出して、元気な赤ちゃん。つくりましょう？
先輩……。

【耳舐め20秒】

ん……。出し終わりました？

【囁き終了】

【位置…次のセリフで正面5センチへ移動】

でも……。キスも……。

キスもしたいですね。先輩……。

【キス20秒】

……はい。お疲れさまでした。

これで私たちの初エッチ、完了です。

いやー。滅茶苦茶気持ちよかったですねー先輩。
ちょっとしばらく、ハマっちゃいそうです。ふふっ。

…はい？

いや、大丈夫ですよ。ちゃんと安全日です。さすがにそんな、悪い子じゃないですって。

ん。安心したなら、良かったです。

じゃあもう少し、初エッチの余韻に浸りましょう？先輩……。

【優しめにキス10秒】

あー……。でもあれですね。

あんまりイチャイチャする時間、なさそうですね。

明日の文化祭に向けて、そろそろ先輩、帰らないと……。

いや、あと十五分です。

あと十五分だけ、イチャイチャさせてください……。

ほら、もっとキス……。

【優しめにキス15秒（フェードアウト）】

トラック9：文化祭

【位置：正面斜め右耳側50センチ】

【全校放送をする感じで】

9時30分となりました。

これより、水栄（みずさかえ）の文化祭を開催します。

ご来場の皆様、

今日明日と生徒一同、当文化祭を盛り上げてまいりますので、是非色々な場所へお立ち寄り頂き、存分にお楽しみください。

【「」の中は文化祭のサブタイトルです。】

それでは。

「ウォータースクランブル。生徒の絆と青い夏……。」
水栄祭（みずさかえさい）、開催です。

SE：雷管の音

【ここからは放送ではなく普通の会話です】

【位置：正面斜め左耳側30センチ】

さて。始まりましたね。文化祭。

あ。北島先輩と坂本さん。

校門の、パンフ配りのフォローに言って貰えますか？
会場から三十分くらいは、人手が足りないと思うので。
そこについてもらえると。

そのあとは……。

まあ、委員長に支持を仰いでください。

ただ、十一時からステージの開幕となりますので、その十五分前には集合をお願いします。

はい。頑張りますよう。

【位置：正面30センチ】

あー先輩、待ってください。

先輩は無線の一つ、もって行って貰えます？
チャンネルは四番です。

あと、お家柄イベントを多少は踏んできた私から、
少しアドバイスをしてもいいでしょうか。

ええ。では先輩。聞いてください。

イベントと言うのは、

準備を頑張った人間ほど、本番忙しくなるものです。

準備を沢山したということは、

それだけ管轄している部分が多いということですから、当然ですね。

おそらく先輩や私は文化祭中、

各所で発生した問題に追われる日々となるでしょう。

ですがここで気を付けなければいけないのは、

発生した問題を解決するために、

私たちが走り回ってはいけないと言うことです。

私たちが走り回ったところで、

発生する問題すべてを解決できるわけではありません。

むしろ私たちの所在を他のスタッフが把握できなくなり、
報連相が遅れ、運営に支障をきたすでしょう。

よくあるんですよ。

責任者が走り回るせいで、イベントが上手くいかないパターン。それでも他のスタッフが優秀であればなんとかするんですが、今回はそういう訳ではありませんし……。

まあ、つまりは先輩。

イベント中発生した問題は、

できるだけ人を使って解決してくださいということです。

私たちはただ、指示を出すだけ。

いつでも無線が取れて、定位置にいる。

それを心がけてください。

私からのアドバイスは以上です。

まあそれでも、結局私たちは走り回ることになるんでしょうけど……。

ええ、お願いします。先輩。

あー……。あと。

逆に、委員長はできるだけ走り回らせてください。

ちよっと忙しいくらいの方が、

あの人も委員長やってる感が得られて、調子に乗ってくれるでしょう。

……ですね。

分かりたくもなかったですが、

お陰様で委員長の扱い方を随分理解してしまいました。

面倒な女の扱い方……。本にしたら売れそうですね。あはは……。

はい。文化祭、成功させますよ……。先輩。

トラック10: 飴玉二つ。

【位置：正面斜め右耳側50センチ】

【全校放送をする感じで】

五時となりました。

これを持ちまして、水栄（みずさかえ）の文化祭は終了となります。
沢山のご来場、誠にありがとうございました。

ご来場の皆様にご連絡です。

当文化祭の閉門は、六時となりますので、

それまでにお帰り頂きますよう、お願いいたします。

続きまして、全校生徒に連絡です。

閉門後、六時半からグラウンドにて、後夜祭を行います。

自由参加となりますので、

参加したい生徒は各ポイントの作業を終えた後、

グラウンドに集合してください。

また、後夜祭では、

各ブースの余りの商品を販売することも可能です。

希望する生徒は、

実行委員および生徒会スタッフが場所を割り当てますので、
グラウンド入口のテントへ、お申し出ください。

それでは改めまして、

ウォータースクランブル。生徒の絆と青い夏。

水栄祭（みずさかえさい）へのご来場、誠にありがとうございました。
皆様、気を付けてお帰り下さい。

SE: 場転

ああ。お疲れ様です。先輩。

はい。少し休憩時間だそうです。

駐車場の誘導をしているスタッフが戻ってきたら、
屋外のものだけ撤収するらしいので、
先輩も今のうちに休むと良いですよ。

お茶、いります？

ええ。どうぞ。

SE：お茶を渡す。

あはは……。そりゃそうですよ。
結構疲れてます。さすがに。

まあでも、成功してよかったですよ。ミスコンも、文化祭も。
正直委員長の司会は、
普通なら寒すぎて滑り倒してそうなものでしたが、
文化祭の会場というのは、温かいですね。
大体なんでも大うけしてました。
酒でもどこかで出してたんでしょうかねえ……。なんて。

あ。そー言えば先輩。

ミスコンはだれに投票したんです？

彼女としてそういうの、結構気になるんですけど……。

SE:投票用紙を渡す

投票用紙……。

あー……。えっと。

これはつまり、私に投票するということですか？

ふふっ。のろけてますねー中々……。

まあ、ありがたくもらっておきますが……。

……。

すう……。ふう……。

あの一……。せんぱい。

滅茶苦茶面倒臭い事。言ってもいいですか？

【ここからの演技ですが、トラックフと差別化を測りたいので、そんなに暗い雰囲気にはしないでください。】

【割とあっけらかんとした演技で、

それでいて感情は感じられる程度に……】

【それでも暗い雰囲気になりそうでしたら、

それはそれでオッケーです】

いやー……。正直言々と私今、

「今回の文化祭は失敗した方が良かったんじゃないかな〜。」って。そう思ってるんですよ。

いえね。他の実行委員のメンバーがさっき、

キヤーキヤー言いながら抱き合ってたんですよ。

どうやらあの人たちは今、達成感に打ち震えてらっしゃるようで、

「文化祭成功してよかったね〜」とか。

「色々あったけど私たち頑張ったよね〜」とか。

感動の涙を浮かべながら、そんなことを言い合っていました。

……でも。

言ってしまうえばあの人たちは別に、
感極まって泣いていいほど、頑張っていないですよ。

忘れちゃったんでしょかねえ……。――

ロクに作業もせず、毎日くだらない会議をだらだらと続けていたこと。
私と先輩に業務のほとんどを押し付けて、早々に帰宅していたこと。

それで先生に叱られてやっと、
最後の一週間をそれなりに働いただけなこと……。――

結局のところ。

私たちが無理やり文化祭を成功させたせいで、
あの人たちは反省するべき実行委員でのふるまいを、
良いように改ざんしてしまったんです。

努力した青春の1ページとして刻まれて、
将来面接のネタにでもなるんでしょう。

……だから。「失敗した方がよかったかなー」って。

失敗して、挫折として刻まれた方が、
幾分か健全だったでしょうから。

あはは……

……。

まあ。正直言えば悔しいんです。

私や先輩の努力や頑張りが、
あの人たちの安い青春エピソードとして消化されているのが。

私たち、何のために頑張ってたんでしょう。

少なくとも、あの人たちのハリボテの達成感のためではないと、
そう思いたいんですけど……。分からなくて。

……。

あーあ。

なんか結局、モヤっとしたまま終わっちゃいますねえ。文化祭。

……って。すいません。

こんなこと聞いたら先輩もモヤモヤしちゃいますか。

まあ彼氏ですし、感情の共有ということで、許してください。あはは……。

……はあ……。 (溜息)

……。

……ん？ なんですか？

女の子？

おや……。

【ここから掛け合いになります。「雫」の方をお願いします。】

【演技は小さい子相手なので、少し優しい感じで】

【位置：正面30センチ、

その位置で、マイクに対し横向きでセリフ。向く方向は右耳側】

少女：おーい、おねーさん。

雫：はいお嬢さん。何か御用ですか？

少女：このハンカチ、落とし物だよ。校門の前に落ちてたの。

雫：おお……。ありがとうございます。

少女：んー……。？

雫：……どうしました？

少女：ねえお姉さん……。お姉さんって、さっき放送してた人？

雫：ええ、そうですよ。良く気づきましたね。

少女：ふふっ。やっぱり？ 声がおんなじだもん、分かっちゃった。

雫：いい耳をお持ちです。

少女：じゃあねーお姉さん、これあげる！

雫：……これは……。飴玉ですか。

少女：放送してたってことはお姉さん、お祭りのスタッフさんでしょ？
ならあげる。お祭り楽しかったから、そのお礼だよ。

（次の「ああ」は、自分が人を楽しませるために

文化祭を作っていたんだという、気づきの「ああ」です。）

栗… ……ああ。

少女…ん？

栗… ……いえ。ありがとうございます。お嬢さん。

少女…うん。それじゃあバイバイ、お姉さん。ふふふっ……。

SE…遠ざかる足音

【掛け合い終了】

【位置：正面30センチ（マイクに向き直って）】

……。

ねえ先輩。

あの子。楽しかったって、言ってくれましたね。

はは。ははは……。

そういえばそうでした。

今日は、お祭りでした。

それで私は、お祭りを作るために、頑張ってたんです。

なんだ、単純な話じゃないですか。

私、ちよっと考えすぎてましたよ。

【位置：正面斜め右耳側30センチ】

はい先輩。ぱーす。

飴玉2つ貰ったので、一つあげます。

味わって食べてください。ふふっ。

じゃあ先輩。

私、落とし物の放送をしてきますね。

多分そろそろ撤収が始まりますから、

先輩も腰を上げた方がいいかもしれません。

ええ。では最後まで。

頑張っちゃいましょう。先輩。

